2026年度　第3回　子育て茶話会を開催しました

11 月 14 日（土）保護者 5 名、卒業生保護者 3 名、運営委員 2 名、教員 3 名、SC1 名（計14 名）が出席しました。今年度も卒業生保護者がファシリテートし、のべ40名の方が参加しました。安心して話せる場をつくり経験を出し合いました。「先回りをやめる」「ゲームとりあげはシンドイ」「自己管理できる日がくる」「親も元気をためる」「いずれはまっとうになると信じて応援」「子どもは別人格」など子育ての悩みや知恵を共有しました。



参加者の感想を一部ご紹介します（抜粋）

＊　子育て茶話会に参加する前は、子供の悩みに寄り添いたいけど子供にも話ができることやできないこともあり、大丈夫かなと心配でした。先生方に相談したところ思春期の女子のコミュニケーションの話に共感できる点もあり、更に実体験も聴けたことで子供たちの楽しい様子に少し気持ちも和らぎました。また次回も相談し子供との会話や勉強について考え、有意義に学生生活を過ごせたら良いなと感じました。体のことや睡眠の貴重な情報も教えてくださり、家でも今後のサポートに活かしていこうと思いました。（保護者）

＊　保護者の方や先生方とお話できる貴重な機会でした。学校に問い合わせる程の事ではないけれど、知りたい事等聞く事ができました。司会の方が全体に話を振ってくださるので話しやすいです。（保護者）

＊　久しぶりの茶話会でしたが、変わらない空気感と懐かしい顔ぶれにとても癒されました。茶話会のテーマは子育ての色々。保護者の方のお話しに同感すること、感動すること、考えさえられることなどさまざまであり、自分自身がアップデートしたのではと感じられる時間でした。楽しかったです。子供と暮らして日々思うことは、子育ては大変だけど我が子はかわいいということです。色々な壁を乗り越えなければならない、大変だけど、子育てを続けられるのは、かわいい、愛おしいと思う心があるからだということを改めて感じています。しかし大変な時はその心を忘れがちになり、注意しすぎて悩んでばかり、笑顔はありませんでした。大切な事を見落としていた気がしました。愛おしいという気持ちを忘れないでということ、必ず思いは伝わるから子供を信じて、笑顔でやっていきましょうと伝えたいです。このような素晴らしい会を継続されている先生方、職員のみなさん、卒業生の保護者のみなさんへ感謝申し上げます。ありがとうございました。（保護者）

＊　子供への接し方に悩む中、思春期を乗り越えた先輩保護者のお話に、悩む度に励まされ勇気をいただいております。いつも温かい助言をいただき日々活かせること、いつも寄り添ってくださることに心から感謝しております。（保護者）

＊　同じ親同士が自分のペースで色々な話をする集まりです。そこには学校の先輩ママがいたり先生がいらしたり、様々な視点の話が聞けるのも楽しいです。（卒業生保護者）

＊　同じ学校に子どもを通わせる保護者同士、普段なかなか話す機会のない方とも交流でき、共感したり、新たな気づきを得たりする場になったと思います。思春期ならではの子どもとの接し方等、さまざまな悩みや思いを共有する場となりました。今後は、まだ参加されたことのない保護者の方にも気軽に足を運んでいただけるよう、茶話会の楽しさや安心して話せる雰囲気を伝え、参加の輪を広げていけたらと思います。（卒業生保護者）

＊　茶話会に我が子が卒業してからも参加させていただけることに大変感謝しております。茶話会のあたたかな空気感が大好きです。悩みの解決は　ないです！　でも話すことで楽になると思います。茶話会の開催を今後も楽しみにしております。（卒業生保護者）

＊　今回も、卒業生の保護者として参加させていただきありがとうございました。現役のころから子育て茶話会は、私にとって、心のオアシスとなる場所である事に変わりないです。子育て茶話会は、悩み事でもなんでも吐き出すことができる、他の方はどうしているのかが分かるというメリットしかないと感じます。（卒業生保護者）

＊ 思春期・反抗期、時にはスルー技術も必要であり、掛けた言葉は子供に残ること、とても参考になりました。心と身体の変化・成長についてカウンセラー・保健の先生からのアドバイスがあり、さすが！なるほど！と感じました。大学生活について、自由になり勉強を楽しめるようになった、一緒に学ぶ仲間がいる、などリアルな今の様子を聴くことができるのも茶話会の魅力です。あたたかな時間をすごさせていただき、帰り道は心が軽くなり、参加してよかったな、と思います。ありがとうございました。（卒業生保護者）

＊ 思春期の心と体について、養護教諭やスクールカウンセラーの方の知見を伺い、目から鱗でした。性の悩みを知っておくと安心できますし、発達という視点で一歩下がって子どもを見守れます。なごやかな空間感が心地よく、育ち合いの大切さを感じました。（教員）